



比叡山の間伐材利用促進事業



ローズブレイスけいはんな公園都市



「四季・彩りの森復活プロジェクト」での植樹活動

Environment

環境への取り組み

地球温暖化などの環境問題は、近年ますます重要な課題となっています。当社では平成14年12月に京阪グループ環境理念を制定し、環境経営を推進しています。平成19年からは環境方針の重点実施項目に「公共交通利用促進」を加え、環境負荷の低い鉄道の利用を継続して社会に発信しています。

環境管理責任者ごあいさつ

当社の環境マネジメントシステム(EMS)はISO14001の要求事項に適合した環境管理規程をもとに、当社事業活動から生じる環境への影響を低減すべく活動しております。

当社における最大の環境負荷は鉄道電力であり、昨年度は省エネルギー車両の運用拡大などの従来からの取り組みに加え、LEDをはじめとする省エネルギー照明を駅照明へ導入することにより鉄道電力の削減を図りましたところ、総合原単位で対21年度比3%削減の目標を大幅に上回る7.69%削減を達成することができました。

昨年に引き続き電力不足に対応する節電に対する社会的要請は大きく、また本年は電力料金の引き上げという側面も加わりました。従業員の節電に対する意識を啓発するとともに、車両用クーラーを更新するなど省エネルギー機器を積極的に取り入れることによって、今後も節電に貢献してまいります。

なお、鉄道電力以外の使用エネルギーについては、省エネルギー機器への更新などにより、法で定められている削減努力目標である原単位での対前年度比1%削減を上回る3.9%削減を達成することができました。こうしたエネルギー使用量削減のための環境活動を今後も継続していくとともに、CO₂削減を人類が取り組むべき問題ととらえ、当社を支えていただいている社会全体のための環境活動についても取り組んでいきたいと考えております。

その他の取り組みとして、京都府相楽郡精華町精華台5丁目において、ヒートアイランド現象を緩和する保水性アスファルト舗装を採用し、全戸に太陽光発電システムの導入した環境配慮型の戸建分譲を開始しました。今後も事業活動と環境活動の調和を目指し、環境負荷を低減するような取り組みを進めていきたいと思っております。



環境管理責任者
常務執行役員
木村 靖夫